

第1回組織力強化会議を終えて

発行：釧路教育局教育支援課義務教育指導班

令和4年7月13日(水)、今年度の「管内学力向上ロードマップ」に基づき、管内の学力向上に向けた取組の方向性について共通理解を図るとともに、管理職のリーダーシップによる校内の組織体制や検証改善サイクルの確立を図ることを目的に、第1回組織力強化会議を開催しました。

本会議における実践発表の内容等について紹介します。



実践発表：「学力向上に向けた組織体制と検証改善サイクルの確立について」

講師：北見市立三輪小学校 片桐 聡 校長先生

令和4年度 グランドデザイン



【R4. 7. 13 第1回組織力強化会議 片桐校長先生講話資料より】

【学校経営方針の浸透】

- 全ての教育活動は、学校の教育目標の実現にある。
- 達成目標を設けることで、数値目標として意識する。
- 全ての教職員が共通理解を深めるために、取組の方向性を一目瞭然にする。
- 三輪小のこれまでの歩みとこれからの歩みや、これまで営んできた教育のよさや強みを継承、発展させる。
- 学校力向上に関する総合実践事業を推進するために、「人材育成」「日常授業の改善」「組織力の向上」「職場環境の整備」を位置付ける。

「4つのたい」がある学校

- 子どもたちが学びたい
- 保護者が通わせたい
- 地域が支えたい
- 教職員が働きたい

三輪小のコンセプト

- 学校の目指す方向に教職員のベクトルが揃っている
- 保護者や地域の声を追い風に
- 保護者や地域もチームの一人

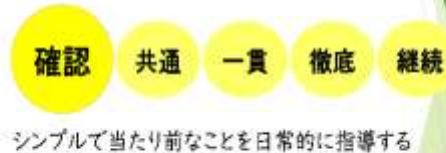
【組織マネジメント】

- 確認(評価)から始めるマネジメントサイクル
 - ・ 達成度を確認する、目指すべき姿とのズレを確認する、次の具体的な方策を確認
- 短期達成型の学校改善
 - ・ 前期、後期の学校評価結果を基に、改善が可能な場合は、年度の途中であっても改善に着手
 - ・ 全国学力・学習状況調査、チャレンジテスト、新体力テストの分析結果を日常授業に反映
 - ・ 端末の校務運営への利活用
- 各分掌による主体的な業務運営
 - ・ 学校の教育目標を具現化する分掌業務
 - 教務部：教育課程の管理運営
 - 研修部：授業改善 保体部：体力向上
 - 生活部：基本的な生活習慣の定着

チーム三輪としてのマネジメントの考え方

確認(評価)から始めるマネジメントサイクル

C(評価)を核としたA(改善)→P(編成・計画)→D(実施)



シンプルで当たり前なことを日常的に指導する

取組を学校全体で共有する
共有した事例を学校全体で徹底・継続する 学校としての当たり前を増やす

【R4. 7. 13 第1回組織力強化会議 片桐校長先生講話資料より】

検証改善サイクル確立のポイント

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 短期達成型のマネジメントサイクル | 年間スケジュールの見通しと達成可能な目標の設定 |
| 2 チームとして取り組む体制を整備 | 担当から学年・分掌へ 学年・分掌から学校全体へ |
| 3 成果を「見える化」して原動力とする | 学校評価や各種調査の結果分析を工夫 |

参加者の意見・感想

- 校長として、誰しもが悩んでいる事柄に対して、『志』と『策』が重要であることを改めて示していただきました。
- グランドデザインの具現化のためにどのように学校経営方針を浸透させていくのかという具体的手立てが大変参考になりました。
- 検証改善サイクルの確立に向けて、「短期的な目標設定」「体制整備」「成果の見える化」を意識し、学校全体の組織的な取組につなげることが大切であると感じました。